

日本聖公会

大阪教区報



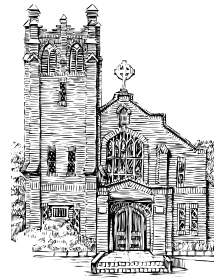
聖蹟主教会



聖ガブリエル教会



守口聖オーガスティン教会



主教座聖堂 川口基督教会

日本聖公会
大阪教区総務局
〒545-0053
大阪市阿倍野区
松崎町2-1-8
TEL 06-6621-2179
FAX 06-6621-3097
発行責任者
総務局長 司祭 内田 望

+++++ 第507号 2023年2月20日発行 +++++

「回心」の季節

司祭 テモテ 内田 望

今年(灰の水曜日)から2023年の大齋節が始まりました。皆様にとって何回目の大齋節でしょうか。この大齋節には昔からいろいろな教えや習慣があり、伝統的に守られています。私は大齋節に献金の箱をすぐに思い出します。最近、封筒になっていますが、昔は箱を組み立ててそこに献金をしていたことがとても懐かしく思い出されます。そして、「悔い改める」と言う言葉が大齋節のキーワードになっています。大齋節の特別な日には、「悔い改めるすべての罪人を赦してください。」また、「わたしたちのうちに悔い改めの心を新たに起こしてください」と祈ります。「悔い改める」とは？辞書によれば、「過去の過ちを反省し、もう二度としないように心を入れ替える」と出てきます。いわゆる「改心」です。心を改めるんですね。しかし、ど

うでしょう。私たちは弱いちっぽけな人間、罪人です。心を入れ替えても、また同じ過ちを何度も何度も繰り返しています。神さまを心の中心



に添えることなく、自分を心に生活を送っています。そこでこの大齋節は、「改心」ではなく、「回心」の季節とされています。「回心」。心を自分ではなくて神さまの方に向け、神さまの愛を信じ、神さまの愛にすべてを委ねていくこと。すなわち、神さまに心を開いていくことを言っています。自分はこんな悪かった、こんなに間違ってい

る、こんなに足りない、自分を一生懸命見つめますけども、見るべきは神さまなんです。「改心」はしていても、なかなか「回心」ができていない人がいるのでは。

さて、主イエスさまが洗礼者ヨハネから洗礼を受けられたとき天から声がしました。「あなたはわたしの愛する子、わたしの心に適う者」(マルコ1:11)。この天からの声は、親が子どもを「よしよし、いい子、いい子」となでるような感じでしょうか。この天のお父さまの言葉は、皆さまが洗礼を受けられた時にもかけられていたのです。皆様に対して「本当にいい子、いい子。よしよし」と。この言葉は天のお父さまの愛溢れた言葉であり、「あなたは尊いかけがえない人なんですよ」と言っているのです。とても嬉しくなる言葉です。神さまはこの言葉を多くの人に聞かせたい。届けたい。その思いのためにイエスさまをこの世

に誕生させて下さいました。この言葉を必要としている人は皆さまの周りにもたくさんいらっしゃるのではないのでしょうか。そんな大切な存在として造り、御心に留めてくださる人間を神さまは塵のように造られたのです。詩編には「わたしたちが塵にすぎないことを御心に留めておられる」(詩編103:14)。私たちが塵のように、欠けた者として造られたのです。このことは決して悪いことではなくて、神さまが私たちに憐れむためなのです。私たちの欠けたところに神さまの憐れみが染み渡るためなのです。この神さまの憐れみは、一人一人の頭をなでながら「あなたは本当にいい子、いい子。よしよし」という神さまの声に他なりません。大齋節は、「改心」ではなく、「回心」の季節。神さまに心を開き、神さまの愛深き声をしっかりと聴く時としましょう。

(西宮聖ペテロ教会牧師、
堺聖テモテ教会管理牧師)



教区成立100周年記念事業準備委員会からのお知らせ

大阪教区は今年成立100周年を迎えます。当委員会では様々な記念の催しを検討しています。

これから、記念礼拝の日まで、教区報を通じて皆さんにお知らせしていきます。また教区が一丸となつて祈るため、日本聖公会大阪教区成立100周年の祈りを作成しました。各教会、ご家庭でお祈りいただき、100年の節目の時を皆様とともに過ごして参りましょう。

1. 記念礼拝

日時 2023年6月11日 (日) 10時30分
場所 プール学院メアリーズホール

*礼拝後に「ソウル教区合唱団」のコンサートを予定しています。

2. 記念連続セミナー

① 2023年4月頃 3回予定
「大阪教区信徒の皆さんへの手紙Ⅰ」教区100年の歩み

② 2023年5月頃
「大阪教区信徒の皆さんへの手紙Ⅱ」教会・学校・施設の活動状況について

③ 2023年7月頃
「大阪教区信徒の皆さんへの手紙Ⅲ」これからの歩み、教会が大切にしていること

④ 「教区成立100周年の祈りカード」信徒の皆さんへお配りします。

1. 記念礼拝

日時 2023年5月頃
場所 プール学院メアリーズホール

*礼拝後に「ソウル教区合唱団」のコンサートを予定しています。

2. 記念連続セミナー

① 2023年4月頃 3回予定
「大阪教区信徒の皆さんへの手紙Ⅰ」教区100年の歩み

② 2023年5月頃
「大阪教区信徒の皆さんへの手紙Ⅱ」教会・学校・施設の活動状況について

③ 2023年7月頃
「大阪教区信徒の皆さんへの手紙Ⅲ」これからの歩み、教会が大切にしていること

④ 「教区成立100周年の祈りカード」信徒の皆さんへお配りします。

日本聖公会大阪教区 教区成立 100 周年の祈り

信頼と一致、真理の源である神よ、あなたはわたしたちをみ子の十字架と復活、そして聖霊の降臨によって遣わされた使徒たちからの唯一の聖なる公会に召し、あなたに任せさせてくださいました。どうか教区成立100周年を迎える日本聖公会大阪教区と大阪教区に連なるすべての人たちに聖霊を注いでください。この100年の感謝を分かち合い、主を喜びとし、主のみ言葉に聴き、主の福音を分かち合う器として、ますます謙遜な心で歩み続けることができますように、わたしたちを豊かに用いてください。み子イエス・キリストによってお願いいたします アーメン

【記念聖句 ネヘミヤ記 8:10】

主を喜び祝うことこそ、
あなたたちの力の源である



日本聖公会 大阪教区
教区成立 100 周年記念

大阪教区 子ども礼拝

キッズフェスティバル
きみがスキだって! 2023

2023年 4月29日(土・祝)
会場 大阪教区 川口基督教会
時間 10:00~15:00 (受付 9:30~)
持ち物 おにぎり・飲み物

今年は、ザアカイのお話。イエスさまがザアカイを訪ねてくれました。ザアカイの心は変わりました。イエスさまがザアカイの友だちになってくださったのです。どんなお話かな?楽しみに来てね。



「人の子は、笑われたものを探して救うために来たのである。」(ルカによる福音書19章10節)

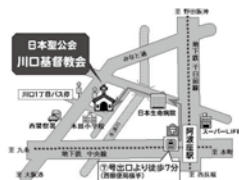
●問い合わせ・参加申し込みはこちら
TEL /FAX 石橋聖トマス教会 06-6854-8657
E-mail kyoukukids@gmail.com
(担当:子どもプロジェクト 斎藤みち)



川口基督教会 550-0021 大阪市西区川口1-3-8

地下鉄/中央線又は千日前線で「阿波羅」下車。
②号出口(西郵便局横手)より徒歩7分。
バス/「大阪」駅より「天保山」行(88)で「波屋橋」経由にて「川口1丁目」下車すぐ。
駐車場がありませんので、地下鉄、バスをご利用下さい。

主催 日本聖公会 大阪教区 宣教局 生涯学習委員会



日本聖公会 大阪教区 教区成立 100 周年記念

教区聖歌隊 メンバー募集

~ 教区成立 100 周年記念礼拝 ~

日時 2023年 6月11日(日) 10:30~

場所 プール学院 メアリーズホール JR 環状線「桃谷」駅下車

練習スケジュール

3月12日(日)・4月16日(日)・5月14日(日)・5月21日(日)・5月28日(日)
時間:14時~16時 場所:川口基督教会 聖堂

(リハーサル) できる限りご参加ください。

6月10日(土)午後 メアリーズホール 時間は決まり次第お知らせします。

(当日)

6月11日(日)9時30分~練習 10時30分~100周年記念礼拝

《参加申込み》FAX,またはメールにてお申込みください。

※切 2月28日(火)

FAXの場合: 申込み書に必要事項を記入し、教区事務所までお願い致します。

メールの場合: 下記のメールアドレスに「お名前と教会名」を明記してお送りください。

大阪教区聖歌隊 メール seikataiosaka@gmail.com 担当 内海由美子

*右のQRコードからお申込みできます。



解説・宣教協働区・伝道教区とは？

改正法規の内容

⑤

2020年の日本聖公会第65(定期)総会で改正された法規は第128条で、翌年の第66(臨時)総会で、関連部分の追加修正が承認されました。
△宣教協働区について▽
法規第128条の2で新たに規定されたのが「宣教協働区」の設置です。これは日本聖公会の宣教体制強化と教区再編をはかるために、日本全体を3つのエリアに分け複数の教区による編成とするもので、「別表3」として以下のよう

に示されています。
東日本宣教協働区
(北海道、東北、北関東、東京)

中日本宣教協働区
(横浜、中部、京都、大阪)

西日本宣教協働区
(神戸、九州、沖縄)

そして、各宣教協働区内に「協働委員会」が設けられます。

△協働委員会について▽
「協働委員会」は、宣教協働区内の運営、宣教・牧会などについて協働を推進し、また教区再編について検討する働きを担っています。構成員は、各教区主教、各教区が選任する聖職と信徒各1名、そ

の他協働委員会が必要と認めらる者です。ここでの協議を通して、各教区の持つ違いや共通点を分かち合い、より良い方向を目指し、協働の具体的な活動を協議・実施することが期待されています。
同時に、「協働委員会」には教区再編を立案・調整することが求められ、宣教協働区内のある教区が「伝道教区」になった場合は、その運営および宣教・牧会などについて、区内の協働を推進する役目も担います。教区のあるべき姿を再検討していく場として、日本聖公会全体、また各地域に立った視野をもつことが求められます。

法規改正後、大阪教区からは「中日本宣教協働区協働委員会」に磯崎久主教、柳時京司祭、太田幸彦さん(聖ルシヤ)が入り(2022年教区会まで)、今年度は柳司祭に代わって小林聡司祭が加わります。
△「伝道教区」について▽
法規第128条の3として新たに規定されたのが「伝道教区」の設置で、「教区は、教区会の決議と日本聖公会総会の承認によって伝道教区になるこ

とができる」というものです。
通常、各教区は必ず教区主教の司牧のもとにあり、教区主教が定年退職や、病気等で辞職・退任した場合には、管理主教のもとで60日以内に教区会を開き、次期主教選挙を行わなければならない。しかし、今回の「伝道教区」は、宣教協働区内での協働、教区再編を推進していくために、教区主教を置かず、宣教協働区内の他教区主教管理のもとで歩む、いわば「過渡的な共同体」という位置づけのもの

です。
教区が所定の手続きを経て伝道教区になると、
・当該教区の主教は退任。主教の聖職位は残り、司祭として教会を司牧することは可能です。

・首座主教は、宣教協働区内の他の教区主教と協議し、主教会の同意を得て、宣教協働区内の教区主教の1人に新たな伝道教区の管理を委嘱します。

・伝道教区が所属する宣教協働区内の協働委員会は、伝道教区の運営、宣教・牧会などについて宣教協働区内の協働を推進します。

・具体的には5年を期限として、教区再編(例えば合併、区域の変更)あるいは教区新

設(例えば近隣教区と共に新教区を設立)することを検討。この期限を延長する場合、伝道教区の管理主教は主教会の承認を得なければならない。

・法規第106条から第131条までの条項は、「教区」を「伝道教区」に、「教区主教」を「管理主教」に読み替えて準用します。

・伝道教区は、伝道教区会の決議と総会の承認によって、教区となることが可能です。合併の推進が頓挫した場合な

ど、再び教区に「戻る」選択肢もあることが規定されています。

このほか、伝道教区になった場合でも、日本聖公会総会に代議員の議席は有すると規定されていますし、常置委員会は今までどおりの構成員で運営されることとなります。臨席する主教が宣教協働区内の「管理主教」という点が、大きな違いです。(常置委員会)

正義と平和担当者会報告

司祭 古澤 秀利

去る1月10日(火)と11日に、日本聖公会管区事務所とZoomにて「正義と平和担当者集い」が開催されました。正義と平和委員長の上原榮正主教は開会挨拶において、正義と平和担当者の使命は「小さくされた人々の声に光りを与え共有すること」であると述べられました。

その後、各教区の担当者から報告がなされ、各教区が取り組んでいる事例が共有されました。休憩を挟んだ後は、正義と平和委員会の各プロジェクトから報告を受けました。各プロジェクトとは、憲法プロジェクト、死刑制度廃止に向けての働き、人

権問題担当、ジェンダープロジェクト、沖縄プロジェクト、原発問題プロジェクトです。それぞれプロジェクトの存在は知っていましたが、働きの詳細について初めて知るものもありました。その後、担当者が小グループに別れて意見交換がなされました。各教区の働きも正義と平和委員会各プロジェクトの働きも、私たちの社会で生きづらい立場におかれている人への働きであり、それは同じ社会に生きる私たちの課題・問題であることを改めて感じる二日間でした。(大阪聖愛教会牧師、聖ガブリエル教会管理牧師)

キリスト教一致祈禱週間共同礼拝

2年ぶりに開催!

ミリアム 増山 悦子

2018年から年に一度開催されている「キリスト教一致祈禱週間共同礼拝」が、1月25日(水)冷え込みで雪がちらつく中、午後6時より大阪カテドラル聖マリア大聖堂の小礼拝堂で行われました。

2021年は新型コロナウイルス感染症拡大で中止されました。主催は日本基督教団・日本聖公会・日本福音ルーテル教会・カトリック大阪大司教区エキュメニズム委員会、20日に神戸で、21日に和歌山



で行われており、この日が今年最後の礼拝となります。「善を行い、正義を追い求めなさい」(イザヤ1:17)が今年のテーマとして取り上げられ、礼拝は5人の懺悔の代祷から始まり、テゼの歌や聖歌388番「救いの道を」や567番「歌え主に感謝」など馴染み深い聖歌も加わり、エフエソ書やマタイ福音書が読まれ、日本福音ルーテル教会の総会議長を務めておられる大柴譲治おほしばじょうぢ牧師のお説教がありました。「主イエスは世界を支える要石であり、ユダヤ人と異邦人との間にあつた敵意をなくして大きな壁を取り払ってくださいました、そして『わたしの兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、わたしにしてくれたことなのである』通り、私たちは共に手を繋いで神の家族となり世界のニーズを受け取って行こう」とキリスト者として的一致を強調されました。エキュメニズム委員会はカト

リックが主導となり行われていますが、礼拝の最後に委員長のビビアーノ・ロッコ神父が「今こそ宗派を越えて力を合わせる時だ」と熱く語られたのが印象に残りました。

司式者6人、出席者約45人。聖公会の出席者は残念ながら1人だけでしたが、外気が0度に近い寒空のもとの心温まる集いとなりました。(川口基督教会信徒)

『杖ひとつ』

「聖ルカ教会・東光学園より」

ダニエル 太久保 正彦

10年程前、東光学園(児童養護施設)での子ども達のクリスマス・イブ礼拝の際に、司式を担って下さった松岡慶一おさき司祭のサーバーとして白いケープを羽織って礼拝に臨みました。

きだつた様です。無邪気で可愛い問いかけに対して、当時は明確な返答が出来なかつたと記憶しています。

その1週間後、年が明けてお正月の挨拶会の場には、父親の着物を借りて和装で臨んだものでした。その時に中学生の女の子がやってきて、目を丸くしてこんな事を聞いてきました。「クリスマスは、神様の格好やったのに、なんで今日は、お坊さんみたいな格好してるん!」1週間の間に同一人物が、ある種「真逆」の装束を身に着けて目の前に現れた事が相当の驚

お正月の雰囲気や、神社・仏閣は極めて『日本的』なものであり、クリスマス(イベントとしての)を含めてキリスト教はどこか『外国的』なものという感覚・イメージが強くあるのでしょうか。多くの日本人が当たり前の様に持つ、ごく普通の感覚と言えらるかも知れません。

て、気兼ねなくドアを開けて入っていただける方がどれだけおられるでしょうか? 良い意味で言うと恐れ多く敷居が高い。悪い意味で言うと無関心。そこには、生活の中に溶け込んでいて無意識の内に行われるものを意識的にかしこまるとして迎えられる事の差があるのではと感じてしまっています。

この積年の意識の差を埋めるのは容易な事ではありませんが、それぞれの教会が持つ特色や地域性に応じた様々な工夫で魅力を発信し、気軽に足を運んでいただけるきっかけを多く提供していく事が、枝の先端である各教会において取り組める大きな働きであると考えています。

(聖ルカ教会)



○宣教協議会 未来へ向けて歩む旅

宣教協議会に向けて昨年1年間は「ぶどうの枝分科会」「ぶどうの枝協議会」を通じて主に管区委員会、各教区宣教担当の方々と共に折り、意見を交わして準備を重ねてきました。今年の11月10日（金）～13日（月）に開かれる宣教協議会。現在、プログラムを固め精査する作業が進められています。物語を大事にし



メッセージ「宣教協議会への招き」 実行委員長 主教 磯晴久

*文字数の関係で要約しています。全体の内容は動画配信しています（「2023日本聖公会宣教協議会ブログ」と検索、またはQRコード）

みなさんこんにちは。この宣教協議会は、前回2012年の宣教協議会から10年後に実りを持ち寄つてもう1度協議会をしましょうという約束を受けて開かれます。実りをもち寄るといふことです。す

たプログラム、子ども達、自分らしく生きることや、声をあげることが困難な人と共に生き働く方々を招いてのパネルトークとグループディスカッション、宣教協働区へ向けて他。過去から現在、そして未来へ向けての協議会となります。準備はこれから益々深まっています。

後、新型コロナウィルス、世界各地の争い、環境問題や災害で、多くの人々が本当に苦しんでいます。日本社会にも生きづらさを感じている人がたくさんいます。また教会もいろいろな課題を抱えておられます。私たちは岐路に立っていて、これからの道をどう歩んでいこうかと悩んでいるところがあると思います。よく聖公会は「神様の国に向かつて歩む旅人である」と言われます。正に私たちは今、希望を持つて神の国へ歩む旅人としてこの宣教協議会を目指しています。その旅は1年で終わるのではなく、これからのための旅です。

私たちが複雑な社会の中に生きていて、どうしたらいいかわからない状況もあります。本当に私たちが今行わなければならない事は何だろうか、関わらなければならない事は何だろうかということを見たいと思います。私たちは神様からいろいろな賜物を与えられています。皆で知恵と力と想像力を出し合い、意見を出し合つて新しい宣教のビジョンを発見する、そのような協議会になったらと心から願っております。その根

底には、主イエスが私たちのところに来てくださった、隣人愛の大切さを伝えるために私たちのところに来てくださった、ということを忘れてはいけません。そこを見つめながら、どうぞいろいろな形でこの宣教協議会にご参加下さいますようお願いいたします。

公 示

救主降生 2023年2月10日

日本聖公会大阪教区 教区会議長 主教 アンデレ 磯 晴久

日本聖公会大阪教区第130（臨時）教区会を、下記のように招集します。

記

- ◆日時 2023年3月19日(日) 午後3時から午後5時
- ◆議場 日本聖公会大阪教区主教座聖堂(川口基督教会) 大阪市西区川口1丁目3番8号

なお、上記教区会の書記を下記のように指名します。

- 書記 司祭 ヤコブ 松平 功
 - 書記 司祭 ジョイ 千松清美
 - 書記 執事 ヒューム ウィリアム ユーワン
- 以上



大阪教区関係教役者
3月逝去者記念聖餐式

3月8日 (水) 10:30~

- 1日 執事 ペテロ 井上 榮 (1966)
3日 司祭 フレッド・ケトルウエル (1952英)
7日 主教 アブラハム 植松 従爾 (2017)
8日 主教 ヤコブ 宇野 徹 (2022)
10日 伝道師 南 茂子 (1961)
15日 司祭 山崎 貞一 (1951)
16日 伝道師 イサク 宗像 和雄 (2013)
17日 宣教師 フローレンス・エリザベス・ガーディナー (1970英)
主教 クリストファー 木川田 一郎 (2015)
20日 宣教師 リーラ・ブル (1924米)
司祭 パウロ 安倍 騰 (1945)
21日 主教 ヒュー・ジェームズ・フォス (1932英)
22日 司祭 オリヴァー・ヘイワード・ナイト (1969英)
司祭 ヨハネ 山根 貞夫 (2018)
23日 伝道師 ハンナ 田中 花子 (1983)
24日 宣教師 メアリー・ダブルディ・ウッド (1891英)
伝道師 林 歌子 (1946)
宣教師 ノーラ・フレデリカ・ジェニー・ボウマン (1965英)
伝道師 姉川 鶯声 (1989)
26日 司祭 岸本 隆一 (1953)
司祭 ステパノ 東海林 定一 (1993)
28日 司祭 伊藤 堅逸 (1967)

*教役者逝去記念聖餐式は、毎月第2水曜日午前10時30分から、川口基督教会で行われます。ご関係の有無にかかわらず、どうぞ自由にご参加ください。

【常置委員】報告 1/13(定期)

I. 主教報告及び諸報告

【コロナ関連対応について】
第8波が進行中であり、各教会で注意することを確認。

【総務局】

高槻聖マリヤ、大阪聖パウロ、聖贖主の3教会協働牧会が始動。

【財政局】

ウクライナ支援に関し、総額1,278,390円がUSPG経由で送金された。

II. 協議事項及び主教諮問

.....

*第129(定期) 教区会議事録を承認した。
*主教から提示された人事案を承認した。

*7教会から推挙されている信徒奉事者を承認した。

*教会支援委員会の今後について協議した。

*IT委員会のアングリチャネル(仮)企画を承認した。
*3月の第130(臨時) 教区会

に於いて協議した。
*11月開催の宣教協議会派遣者および3月開催の福岡フェローシップ参加者(聖職)の人選を行った。

*各教会で行われる奉仕の際に、ボランティア保険に入することへの注意喚起があった。

洗礼
高槻聖マリヤ教会(12月25日)
エステル 橋本 則子

受洗・初陪餐
大阪城南キリスト教会
ガブリエル 松本 雪乃

堅信
尼崎聖ステパノ教会
サラ 勝原 つや子

逝去者
大阪聖アンデレ教会
マタイ 小椋 太心

聖ルシヤ教会
マリヤ 柳川 マリ子

西宮聖ペテロ教会
(1月3日・80歳)
岩島 シヅエ

尼崎聖ステパノ教会
(1月8日・70歳)
マルタ 勝原 由里子

主教巡回予定(3月)
5日 未定
12日 大阪聖ヨハネ教会
19日 川口基督教会
26日 未定

信徒のための講話と黙想

—神様の声を聴きましょう—



主の聖名を賛美します。
コロナ感染拡大から3年が経ち、まだまだ大変な毎日が続いています。
今年は信徒の皆様対象に黙想会を計画しました。静かなひと時、神様の声に耳を傾けましょう。

日時 : 2023年3月21日(火・祝)
午後1時30分~5時30分
会場 : 大阪聖愛教会
(大阪市天王寺区大道3-3-20
Tel; 06-6771-4123)

プログラム : 山野上素充司祭、講話①・②、黙想、夕の礼拝
持ち物 : 聖書・祈祷書・筆記用具

※参加申し込み不要です。

主催 大阪教区聖職養委員会

